

令和8年度第1回御前崎市総合教育会議・御前崎市牧之原市学校組合総合教育会議
合同会議録

日 時 令和8年9月29日（火）

午前8時57分～10時43分

会 場 御前崎市役所 3階 301会議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 協 議
 - （1）御前崎市の学校のあり方について
 - （2）その他
- 5 閉 会

出席者名簿（敬称略）

市 長	下 村 勝
教 育 長	吉 村 紳 治 郎
教 育 委 員	竹 田 和 世
〃	島 田 恵 美
〃	馬 渕 香 澄
御前崎市牧之原市 学校組合教育委員	増 田 克 之
〃	佐 藤 孝 弘
副 市 長	山 崎 雅 樹
	松 坂 亮 輔
総 務 部 長	鈴 木 弘 康
健 康 福 祉 部 長	鈴 木 則 子
教 育 部 長	小 野 田 明 人
学 校 教 育 課 長	早 馬 忠 広
社 会 教 育 課 長	市 川 幸 治
教 育 総 務 課 長	阿 形 元 輝
教 育 総 務 課 係 長	川 村 美 穂
教 育 総 務 課 指 導 主 事	神 谷 昭 吾

欠席者（敬称略）

教 育 委 員	松 林 義 樹
---------	---------

1. 開会

令和8年度第1回総合教育会議を御前崎市、御前崎市牧之原市学校組合と合同で開会する。

松林教育委員は、体調不良で欠席する。

総合教育会議は、法律に基づき、市長と教育委員会が教育行政について協議調製する会議体である。

2. 市長あいさつ（御前崎市 下村 勝）

- ・ 御前崎市の教育行政への協力に感謝。
- ・ 学校再編は将来を見据えた重要な課題で、資料や意見を多く収集している。
- ・ 第3次総合計画と新教育大綱に沿い、現状把握のアンケートを実施した。
- ・ 社会環境や人口動態の変化を踏まえ、年度末までに方向性案を絞り込みたい。

3. 教育長挨拶（教育長 吉村 紳治郎）

- ・ 学校再編の目的は児童数減少の対応以上に、「新しい教育の実現」と「子ども育成環境づくり」である。
- ・ 市民合意の形成が重要。
- ・ 質の高い学びの環境の維持を目指す。
- ・ 地域やスクラムスクール運営協議会との対話を重ねて進めていく。

4. 協議

（1）御前崎市の学校のあり方について

① 事務局説明（教育総務課長 阿形 元輝、指導主事 神谷 昭吾）

■ 学校再編の検討ロードマップとスケジュール

- ・ 令和8年度：児童・市民アンケートやグループワークを実施し、方向性案を策定。秋頃に説明会、1月に第2回総合教育会議、2月に議会説明予定。
- ・ 令和9年度：案の絞り込みと牧之原市との組合解散検討。
- ・ 令和13年度以降：組合解散通告、公立学校の新体制開始に向けた準備。

■ 現状の児童生徒数の推移

- ・ 急速に少子化が進み、小学生数は令和 7 年度の 1,377 人から令和 15 年度には約 600 人台へ減少予測。
- ・ 地区別にも大幅減少（浜岡中学生 553 人→370 人、御前崎中学生 238 人→123 人など）。
- ・ 複式学級発生の可能性が高く、集団学習や多様な人間関係の機会喪失が懸念される。

■ 義務教育の学校形態

- ・ 従来の単独型の小中学校、連携した小中一貫校、教職員組織も小中統合の義務教育学校など 4 形態がある。

■ アンケートおよびグループワーク結果 (秘匿内容を含むため割愛)

■ 検討案の概要 (秘匿内容を含むため割愛)

■ 静岡大学 島田准教授の助言（教育総務課指導主事 神谷報告）

1. 児童生徒の意見を重視した学びの環境づくりを出発点にする。
2. 教育の内容（理念や子ども像）から施設や通学のあり方を検討すべき。
3. 結論は先送りせず、時間軸を設定して早期検討を行うことが重要である。
4. 学区・地域のアイデンティティを尊重し、学校のあり方は地域全体の未来構想と連携する視点を持つべきである。
5. スクラムスクール運営協議会を活用し、対話の場として意見集約・合意形成を進める。

② 参加者協議

(秘匿内容を含むため割愛)

(2) その他

■ 部活動の地域展開による問題点

- 竹田教育委員の孫は卓球部に所属している。休日は練習場所や試合会場が遠くなり、親が送迎できないことや費用の負担が増加（月額約 3,000 円）したことで、平日の中学校部活動での練習しか参加できない生徒がいると聞いている。そのような生徒は何人いるか知りたい。
（事務局回答）具体的な人数や困りごとは、まだ伝わってきていない。
- 馬淵教育委員も野球における同様の状況で、地域展開により辞めた子どももいると報告した。課題として、団体競技が平日は学校別になるデメリット、合同活動カバーとしてのナイター練習での保護者の経済負担を挙げた。

■ 部活動の地域展開にかかる AI オンデマンド活用提案と交通支援検討

- 山崎副市長は、部活動移動時の交通手段に OMmobi.（オンモビ）を活用する調査・推進を提案。
- 事務局は、少ないが利用している生徒がいることを説明。市長は定期バスの運行や菊川市のシャトルバスの事例も踏まえて検討を示唆。

■ 英検の取り組みと教育の展望

- 竹田教育委員は、中学生の英検 3 級取得率が県内 41%で、全国目標の 60%に達していないことを指摘し、英検試験の学校内実施の復活を望んでいる。
- 吉村教育長は、経緯を振り返りつつ、AI 時代に対応した基礎学習やチャレンジ意欲を引き出す取り組みが必要と強調。
- PISA 調査結果を踏まえ、日本の学力上位層の維持とともに、下位層の増加が新たな課題であると述べた。

＊PISA 調査とは、経済協力開発機構（OECD）が、義務教育終了段階（15 歳 3 か月以上 16 歳 2 か月以下：日本では高等学校 1 年生）を対象として実施する生徒の学習到達度調査。知識や技能を実生活の課題にどの程度活用できるかを測る。読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野。

■ 教育委員の視察研修希望

- 竹田教育委員は、岐阜県本巣市のインクルーシブ教育（障害児も主体となる教育）に関心を示し、視察研修の復活を希望した。
- 教育長も先進事例からの学びや研修の重要性に賛同し、今後の教育改善に活かしたい意向を示した。

事務連絡（学校教育課）

- 教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について（報告）
- ・ 詳細は、御前崎市公式ホームページに掲載しているので、ご覧いただきたい。

5 閉会

以上をもって令和8年度第1回総合教育会議を閉会する。